

2020. 4. 9

畑 啓之

「目途」は「めど」か「もくと」か 多くの人が読み間違いをしているようだ

言葉は生き物である。多くの人が読み間違いをすると、やがてその読み間違いが正当な読みとなっていく。

安倍首相の緊急事態宣言発令のスピーチの中で、「もくと」があった。これはほとんどの人が「めど」と発音しているから、やがては「めど」となると考えられるが、文部省的には「もくと」よある。さすがに国の首相のスピーチには、原稿にルビが降ってるに違いない。

安倍内閣総理大臣記者会見 令和2年4月7日

https://www.kantei.go.jp/jp/98_abe/statement/2020/0407kaiken.html

最も感染者が多い東京都では、政府として今月中を目途（もくと）に五輪関係施設を改修し、800名規模で軽症者を受け入れる施設を整備する予定です。

「目途（めど）」と「目処（めど）」の意味の違いと使い分け

<https://eigobu.jp/magazine/medo>

「目途」と「目処」は同じ意味で、同じように使うことができます。細かく分けると、それぞれ「目途」は「目標」、「目処」は「おおよその見通し」という意味で使います。

「目途」は「めど」以外に、「もくと」と読むこともできます。

一般的には「目処」が使われていることが多くて、「目途」はお役所言葉として使われています。

「目途」は「めど」か「もくと」か 2019年5月28日

<https://mainichi-kotoba.jp/enq-140>

「目途」は「めど」と読む人が4分の3と圧倒的でした。新聞は「めど」を平仮名で書いているので、「目途」なら「もくと」なのですが、うすうす感じていた通り「もくと」とは読んでもらえていないようです。

国の常用漢字表では「目」の音読みは「モク、ボク」、訓読みは「め、ま」。「途」は音読みの「ト」のみが挙げられています。それならば「め」と「ト」を組み合わせて後ろを濁らせたなら「めど」と読めるのではないか——とも考えてしまいます。しかし文化庁「言葉に関する問答集17」（1991年）は、数ある「○途」という熟語のうち「～ど」と読むものは「先途」「冥途」のみだとしています。

【先途】せん ど （1）行く先、落ち着く先。（2）大事のところ、勝敗の分けめ。